

平成24年度保健福祉部高齢介護課執行目標達成状況表

番号	執行目標項目及びその内容	目標とする指標 (具体的な数値・内容)	達成 状況	達成済の結果及び未達成の場合はその理由と取組のプロセス
1	<p>地域密着型サービス施設（加茂圏域）の設置</p> <p>・木津川市内の4生活圏域の中で加茂圏域のみがグループホーム等の施設が整備されていないために、今年度に設置事業者を公募し、施設建設を進めていく。</p>	<p>介護保険事業計画に定めた施設整備を実施する。</p> <p>・第5期介護保険事業計画にあげている、グループホーム、小規模多機能型施設、認知症対応型デイサービス施設を公募する。</p> <p>（4月～5月公募、6月～7月選定、年度内に着工、来年度8月までに完成予定で進めていく。）</p>	○	<p>・第5期介護保険事業計画にあげている加茂圏域の地域密着型サービス施設を整備した。平成25年1月25日から施設建築に着工し、8月31日完成予定である。</p> <p>・当該施設の整備により、グループホーム18室、小規模多機能型居宅介護15名、認知症対応型デイサービス12名の利用が可能となる。</p>
2	<p>地域包括支援センターの委託検討</p> <p>・介護認定の要支援者に対するケアプランの作成、相談業務、権利擁護事業など包括支援センター業務が増加する中、委託による民間活用と行政改革を図るため、委託による包括支援センター運営を検討していく。</p>	<p>地域包括支援センター業務を、介護保険サービス提供事業者へ委託するための検討を行う。</p> <p>・他市町村の実施状況や、予算、問題点の把握などを行い実施に向けての検討を進める。</p>	○	<p>・地域包括支援センターを直営から委託方式に変更した府内2市の視察や他市の情報を参考に検討を行った結果、市内4圏域のうち山城圏域の包括支援センター業務をモデル的に委託することを決定した。</p> <p>・委託事業所は、直営包括支援センターのランチ機能を果たしている在宅介護支援センターから選定した。</p>

3	<p>高齢者就労支援等応援窓口の設置検討</p> <p>・退職を迎える高齢者が増加していく中で、社会参加と生きがいを進めるための応援窓口を設置していく。</p>	<p>65歳以上の高齢者の第二の人生を応援するために、総合支援窓口設置の検討を行う。</p> <p>・ハローワークや社会福祉協議会、シルバー人材センター等の活用を含めて検討する。</p>	○	<p>・平成25年4月1日から高齢者就労支援等応援窓口（名称：高齢者いきいきサポート窓口）を開設する運びとなった。</p> <p>・専属相談担当者を嘱託雇用し、サークルやボランティア活動及びシルバー人材センター等の仕事を紹介し、高齢者の社会参加や生きがいを進めるためのサポートをする。</p>
4	<p>孤独死防止の対策</p> <p>・高齢者の孤独死が増加する中、地域のかかわりや見守りの強化を図ることにより防止を図っていく。</p>	<p>関係機関の協力を求めて防止策を検討する。</p> <p>・高齢者一人世帯の把握や見守り、安否確認の方法等を関係機関の協力をもとに検討する。</p>	○	<p>・高齢者の孤独死対策について、関係機関（地域長・社会福祉協議会・老人クラブ・民生児童委員協議会・文化協会）と検討（H24.11）</p> <p>結果：各々が地域活動を通じて多方面から見守りをする。連携により早期支援へと結びつける、一体となって支え合う仕組みづくりを強化する意識統一を図った。</p> <p>・社会福祉協議会が市内の商工、企業の52事業者を登録する見守り隊を結成し、一次的に利用者を見守り、相談に対応している。市包括支援センターや在宅介護支援センターは二次的な相談機関として関わっている。</p>

※達成状況の欄は、目標以上に達成した場合は◎、目標どおり概ね達成した場合は○、目標が未達成の場合は△を記入すること。